

議 事 録

1	会議名	第9回富士見市基本構想審議会
2	開催日時	平成22年6月18日（金）13時30分から16時15分
3	出席者名	委員：市川正三委員、市川浩委員、伊藤悦子委員、上田威委員、小山健次郎委員、渋谷義衛委員、清水實委員、田中洋子委員、根岸由紀子委員、柳田政男委員 市側：斉藤総合政策部長、斉藤政策財務課長、政策財務課（事務局）
4	傍聴者	無し
5	次第	1. 開会 2. あいさつ 3. 協議事項：富士見市第5次基本構想素案について 4. 閉会
6	決定事項等	・ 基本理念・将来都市像及び基本目標4から6について協議し、委員より基本的な合意を得た。
7	議事内容	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p style="padding-left: 2em;">会長あいさつ</p> <p>渋谷会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前は基本目標3まで終了したため、本日は、将来都市像及び基本理念について審議した後、基本目標4から順次ご審議いただく。 <p>3. 協議事項</p> <p>事務局説明</p> <p>事務局</p> <p>（基本理念・将来都市像について事務局から説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回、基本理念及び将来都市像を提案させていただく。 ・ 基本理念は、まちづくりを進めるうえで、全ての分野に共通する原則などを示すものである。また、時代背景なども踏まえたものである。 ・ 将来都市像は、目指すべき将来のまちの姿である。 ・ また、本市の固有性を十分表現した内容としている。 <p>質疑応答</p> <p>渋谷会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容的には、基本理念等に関わるこのような主旨の話はこれまでに行ってきた。意見等あれば伺いたい。 <p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秩父市の基本計画の参考資料を持参した。「親子のボランティア清掃の促進」など分かりやすい表現が多いので、今後、参考にさせていただきたい。 ・ 将来像についてもう1度よく考えると、縄文時代から人が住んでいるという富士見市の良さがあるが、この将来像にはそれが示されていない。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ どの市でも書いてある文言ではなく、「縄文時代から人が住んでいる」など具体的な文言を示し、富士見市がすばらしい所であることを示す必要がある。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本構想は今後10年間続くものであるから、宣伝としてそのような表現を入れた方がよいのか、事務局の意見を伺いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水子貝塚について、将来都市像の説明部分に掲載することは検討の余地がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3～4千年前から人が住み続けてきた悠久の歴史を尊重し、スケールの広い話をすべきである。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本構想は行政のPRの場であると思う。今後10年間、どのような方向性を持ってまちづくりを進めるのかを示す部分である。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秩父の資料もそうであるが、秩父も歴史があるものの、将来像は環境・観光文化都市をテーマにしているとおり、やはり多くの市民から共感される、あるいは共通項であることが大切である。 ・ 水子貝塚について言えば、残念ながら知らない人は多い。例えば城下町等は、まちそのものがその歴史におおわれ、皆が共感できる。そういったものは少し違うものとする。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来都市像の「市民文化交流都市」は一気に前進した感がある。また生活感が感じ取れない印象を受ける。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化の捉え方が難しいが、将来都市像では、文化・芸術といった狭義にとどまらず、人が生活すること自体を文化と捉え、生活文化という考えでいる。交流については、個人の税収に頼るのではなく、市民同士の交流が盛んになることが、今後のまちづくりに必要な条件と考える。確かに、このような説明がないと、ご指摘のとおり、生活感のない文化に偏った印象を受けてしまうかもしれない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民文化会館キラリはこの周辺では有名だが、知らない人もいる。本施設が本市の象徴であるか疑問を感じる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ この施設は、全国的にも稀である芸術監督制度を導入しており、知る人ぞ知る施設になっている。キラリといえば富士見市と分かる施設と考える。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本理念の自然との共生について、「継承」とあるが「作り上げる」ことも必要であると思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば、屋敷林などを市としても保全したいと考えている。共生という文言には、幅広い想いが含まれている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来都市像について、「地域の力を活かす」ことがひとつのポイントだと思う。そういう意味では、文面といいセンスがあってよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来都市像は、10年間の目標なので、その時々で変わる。例えば10歳の子どもが20歳になったとき、それぞれの年代にあった目標を持つ。まちづくりも同様で、時代背景、取巻く環境の変化によって新たな目標を定めるものである。その際、このようなまちであってほしいという皆が共有できるものを作っていく必要がある。

渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> 基本理念と将来都市像については、基本的にはこの形で答申することとする。
事務局	<p>事務局説明 (基本目標4「にぎわいと活力をつくる人のまち」について事務局から説明)</p> <p>質疑応答</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 農業の振興という点では、富士見市は梨がおいしく特産と聞く。もっと力を入れた方がよいのでは。 一方で後継者不足の話も現実問題として聞く。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> 他市の車両ナンバーの人が作業しているところを目にすることがある。後継者不足の現れである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 梨の後継者については、人材育成に時間がかかるという。ただし、県で人材の支援があると聞いている。そういった制度を啓発し、活用していく必要がある。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> 後継者は1人前になるまでに5年はかかるという。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 梨以外にも本市のおいしい産品はある。ヘルシーウォークなど人が集まる時に、きゅうりの漬物やトマトなどを出せば口コミで広がり、その後も買うと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> イベントを使った売り込みは、今後、取組んでいく必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 売り方や加工方法など、工夫すれば売れると思う。そのような相談窓口があればよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 指導者を置いて荒地を貸し出し、作物を栽培して収入を得ている事例がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> そのような取組は、雇用促進にもつながる。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> 住宅を貸し出す事例もある。その付近で農作業を行い、健康にもよく、地域の活性化にもつながる。 今出された意見は、梨に限らず農業全般の後継者施策に通ずる。基本計画の協議の際に、これらの意見も十分踏まえる必要がある。また、事務局から、こういった意見は担当課へ伝えていただきたい。
事務局	<p>事務局説明 (基本目標5「安心、安全、快適な地域をつくる人のまち」について事務局から説明)</p> <p>質疑応答</p>
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> 土地利用構想にかかる部分については、次回の審議とさせていただく。それ以外でご意見等あれば伺いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 蛇島の調節地は自然環境が豊かである。野鳥などにも最適な場所と思う。そういった自然、生態系などは大切に保全していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 防災・防犯について、避難場所の耐震は全て終了しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 校舎の耐震工事は終了している。体育館は今年度終了する予定である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 道路のマンホールは固定しているか。

渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> 一部終了している。本市は軟弱地盤なので、補強はしている。マンホールはキー付である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 「災害協定など広域的な援助体制の構築」とは、具体的にどういうことか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 志木市を含め、2市1町で避難所の共有などを実施している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 防災に対する意識の向上とあるが、子どもへの対策などもう少し、具体的に表現できないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な表現、施策などについては、基本計画の中で検討していく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 上下水道の部分で、「健全な事業経営を推進します」とあるが、この表現だと、健全な経営をしていないのではと思ってしまう。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 現在、赤字ではないが、今後、管路の耐震化など大きな費用が予想される。民間委託の予定も含め、コスト削減、質の向上などの意識を常に念頭に置く必要がある。そのため、あえてこのような表現を使わせていただいた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 市内で酪農をしている人はいるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 3軒ある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 口蹄疫などは虫で感染する。下水道の管理をしないといけない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> その点は、既に対応済みである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 道路・交通環境について、「歩行者や自転車が安心して利用できる道路を計画的に整備し…」とあるが、具体的な整備状況は。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 現状では、歩道整備にとどまっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 10年の計画であるから、積極的に行ってほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 幅員を広げることについては要望が多いが、地権者の了承が必要であり、合意を得ながら進めている現状である。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> 基本目標5について、他に意見がなければ示された内容で整理したい。
事務局	<p>事務局説明 (基本目標6について事務局から説明)</p>
委員	<p>質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> (2)「計画的な総合行政の推進」については、ふじみ野駅内に支所を作っていたいただきありがたい。 ただし、できない手続きが多い。全てできるようにならないと機能しない。元気な人なら市役所に来ればよいが、そうでない人がいるのも事実である。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 取扱い業務数が限られているのは、スペースの問題である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> (2)「計画的な総合行政の推進」の部分に民間活用についての表現がない。あえて書いていないのか。民間の力を使って、サービスを向上させる方法もある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘の点は、表現について検討させていただく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 行政は市民の健康や安全を守る、ある意味経営者なので、税金がないから何もできないではますます行動範囲が狭くなってしまう。自主財源を増やす取組を進める必要がある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 今いただいたご意見は、12ページ基本目標4「にぎわいと活力をつくる人

<p>委員 委員 事務局 渋谷会長</p>	<p>のまち」の部分で対応していく考えである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 税収を確保するためにまちづくりをするのではなく、まず市民が住んでよかったと思える魅力・活力のあるまちづくりをすすめるものである。 ・ その結果が税収増加などにつながっていくものである。 ・ 税収以外にも市役所の壁や道路に広告を出すなどの取組みも必要である。 ・ (1)「市民自治の推進」について、地域力を高めるのは非常に重要なことで、行政はサポーターとしてそれを支えるべきと思う。 ・ これからは市役所も地域と同じ立場に立って取り組む体制を作っていこうという視点も踏まえている。 ・ 以上、原案の形で答申することとするが、本日の意見なども踏まえて、必要があれば次回微修正を行う。 <p>4. 事務連絡・閉会</p>
<p>8 会議資料</p>	
<p>資料：富士見市第5次基本構想素案 資料：第8回審議会会議録 参考資料：第1次秩父市総合振興計画</p>	